





ポジャギの縁で檀徒に

新潟市西区 道見恭子さん(69歳)

と交流する道が開け、 撃をうけた。妙光寺を通して、 各殿のポジャギに出会い、 シャギの魅力にとりつかれ、 集でポジャギ作家として紹介された。この6 同の作品展を催すまでになった。 道見さんは20年前にテ 日本でもファンが増えている。 道見さんは地元新潟の情報誌『キャレル』

ところが人づてに聞いて訪れた妙光寺で その仕上がりの質の高さに衝 韓国や東京で独自に技術を 道見さんは韓国の大学 人者を新潟に招いて

-スを任された。

年の妙光寺客殿の間 美しい風合いが見直 仕切







関東地区お盆参り

7月中旬

関東地区の檀徒宅に、お知らせのうえでお盆のお参り に伺います。 せがき

お盆参り、施餓鬼法要

8月1日未

午前 6時~10時 墓前の読経受付 午前10時30分 安穏廟法要

同 11時 本堂で施餓鬼法要と新盆法要

昼 12時 おとき 午後 1時



新盆法要

ご希望で8月1日未か4日国

植徒で新盆にあたる全ての精霊のお位牌を本堂に安 置し、ご供養します。

関係のご家庭には直接お知らせしますので、ご参列く ださい。檀徒以外の方の新盆供養もお受けします。お問 合せ下さい。

お盆棚経

8月初旬~16日

旧新潟市内、県内遠隔地は、連絡の上で8月初旬から。 近郊のお宅は従来の日程で伺います。予定を知りたい方、 お留守になる方は8月1日以降にお電話ください。

岩屋七面様祭礼

8月19日月

午前10時、本堂にて法 要とお加持。岩屋に移動 して法要。お昼にお赤飯 のご供養があります。ご自 由にお参りください。



万灯のあかり一妙光寺の送り盆

(第30回フェスティバル安穏)

8月24日生

どなたも参加いただけます。 詳細は別紙パンフレットを ご覧ください。

秋季彼岸会法要

9月23日月・祝



午前10時30分 安穏廟法要

本堂にて彼岸会中日法要

昼 12時 おとき

午後 1時 住職法話

予約不要ですので、自由にお参りください。

月例信行会 毎月第一日曜日

7月7日、8月4日、9月1日

午前 7時~9時

予約 不要

会費 千円(当日賽銭箱にお願いします)

お参りと法話、軽い作務、朝粥の朝食やコーヒータイ ムがあります。

月例ボランテラ 毎月15日

※8月のみ22日に変更

7月15日月、8月22日末、9月15日日

午前9時~12時 午後1時~3時

7、8月は送り盆の準備、9月は清掃作業等です。 たくさんの皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

身延山·七面山団体参拝旅行

9月28日 土~9月30日月

参加申込受付中です。

詳細は別紙パンフレットを

ご覧ください。



昨年の身延団参。雨の久遠寺。

お寺でヨガ 毎月第3木曜日

7月18日・8月15日・10月17日

- ●時間 午後2時~3時15分 ●参加費 一回700円
- 持ち物 ヨガマット、もしくはバスタオル
- ●講師 ノリコさん

※どなたでも参加できますが、予約制ですので その都度電話での連絡をお願いします。



安穏廟を開設して30年目の夏を迎えました。安穏廟の開設で、妙光 寺は多くの方と出逢いました。今も、大勢のみなさんと出逢い続けてい ます。今号では、この5年間にご縁を頂いた安穏会員のアンケートを企 画し、約100名の方からご協力いただきました。『妙の光』を楽しく読んで くださっているという声も、たくさんお寄せいただきました。毎号アタフタと 編集しておりまして、ご感想をいただくのは本当に励みになります。あり がとうございました。これからも、『妙の光』をよろしくお願いいたします。

(新倉理恵子)

新潟市西区 道見恭子さん(69歳)

針の持ち方さえしっかり出来ていな で夢中になれるとは思わなかった。 導を受けることができた。「ここま 家の一番弟子を紹介した。おかげ さんは道見さんに、 道見さんの真摯な姿勢に打たれた を「よく一人で習いに来てくれま 細い思いで韓国を訪ねた道見さん 道見さんにSさんを紹介した。心 きれない。そのご縁で妙光寺も現 キルトフェスティバル』 の韓国コー てNHKが2002年から東京 の文化人に太い人脈がある。 の功績が大きい。Sさんは、 と、後にSさんは語ってくれた。 らで、そのつながりはここでは語り Sさんと妙光寺の交流は30年前か したね」とSさんは労ったという。 代作家のポジャギを所蔵している。 こうしたいきがかりで、院首は ーを、第1回から責任担当した。 その方の自宅に1週間通って指 ムで開催している『東京国際 人間国宝の作 そし

袈裟を手作りして奉納

出会いでした」と当時を語る。

韓国と日本でポジャギが再評価

妙光寺のポジャギ

されたのには、韓国人女性Sさん

でに2カ所の教室で50人の生徒さ が開け、技術も向上した。これま 光寺のポジャギに出会って心底感動 指導を受ける機会はあったが、 かった。その後ソウルや東京などで ジャギは忘れられていて、収穫はな れた。しかしその頃は韓国でもポ 初めてポジャギを目的に韓国を訪 裕が出来たのを機に、 する姿を見て育った。子育ても終 わり実家の父も看取って時間に余 したという。Sさんの紹介で展望 道見さんはよく母親が縫い物を 2002年 妙

訪ねたとき、 した」という。

僧侶に布を施す〝お布施〟 道

かったことも分かりました。すごい

道見さん手縫いの七條袈裟

見さん作の『五条袈裟』は院首が 作る技術に近いとの説がある。 を契約した。「初めて妙光寺さんを 着用して雑誌 『キャレル』 にも載っ ギは僧侶が法要で着用する袈裟を 奉納することを思いついた。 ポジャ かって自分も元気なうちと思いま その直後に急逝して願いは叶いませ んな所で眠りたい、と言ったのです。 んでした。 それが心にずっと引っか あるときポジャギで袈裟を作って

た。七条袈裟、も展示された。 ために2年がかりで道見さんが縫っ らも展示した。さらに良恵住職の ショー』では、主催者の依頼でこち ている。6月の『キルト&ステッチ を受賞したチベット仏教指導者ダ 棺掛けは、院首がノーベル平 あたる。妙光寺の葬儀で使っている 掛ける〝棺掛け〟は僧侶の袈裟に 来世に送るもので、そのときお棺に い絹を縫い込んだポジャギで縫われ ライラマに戴いた。カタ、と呼ぶ白 仏教の葬式は故人を僧侶にして

んを指導してきた。 6年前に夫の同意を得て安穏廟 同行した友人が、こ

『七五三詣り』にも家族そろって 年秋、良恵住職初めての法号授 もしれない。そんなこともあり昨 夫も、近頃はこうしてお寺に同行 参加した。「最初は関心の低かった は孫がお稚児さんに出た。 受けた。翌春の〝ご判様〟祭礼で 与式に合わせて夫婦で生前戒名を しんだことで、一心になれたの してくれます」と嬉しそうに語る。 これまで思わぬ家族の病気に苦 11 月

分かるかと思います。

願いが込められた名前

戒名

小川良恵

仮名や片仮名のお名前の場合は、 時などに教えて頂いた故人の経歴 とがほとんどです。枕経に伺った がおつけした戒名と院首時代の戒 本的には住職が考えますので、 使ってはいけない漢字などのきま 「春」や「治」という具合ですね。 ともあります。 故人に似合った漢字になおすこ の一部を必ず入れるのですが、平 て考えていきます。その際、 や日蓮聖人のお言葉の一説を交え 合いの方の戒名をふまえ、法華経 やお人柄、時にはご両親やお連れ ご一報を受けてから、お通夜まで です。そのため、亡くなったとの ち、生前戒名をお持ちの方は数人 やはり年に数十件あるお葬儀のう か記事にいたしました。とはいえ、 であることは『妙の光』でも何度 前であり、生前に授かるのが本義 いるかいないか……というところ 戒名とは仏様の弟子としての名 ~2日の間に戒名を決めるこ もちろんあるのですが、 ハルさんならば、 俗名 基 私

名づけの意味

皆共に仏道を成ぜん

たお名前だと強く感じました。 す。ご両親の願いが強く込められ じてほしい」そんな意味となりま 分を磨きながら、喜びや幸せを感 て見ると「周りの皆と一緒に、 意味があります。

お名前全体とし

自

を磨く、学問や道徳に励むという

れは「切磋琢磨」のサでして、 ひとつが「磋」だったのですが、

珠

がございます。 お読みする一説にこのような言葉 ところで、 私達が法事等でよく 「願わくは、 此の功

かも知れません。

比較すると雰囲気が違うなと

えが込められたこの方のお名前 かな?とふと思えば、 ら、先々代がつけた可能性もある 名付け親になることもあったと聞 は別の人かもしれない」とお聞き が出来なかった。名前をつけたの 喪主から「故人の両親は読み書き 法華経のなかで最も大切な教えの を成ぜん」つまり「みんな一緒に 全ての人々も成仏できますように」 修行に励んだことによる功徳を、 とによって得られた功徳、 「願わくば、 聞き覚えのある方もいらっしゃる らと衆生と皆共に仏道を成ぜん」 徳をもって普く一切に及ぼし、 いたことがあります。 も通じるものではないでしょうか。 ひとつです。先の故人のお名前に 成仏できますように」というのは、 このような意味です。「皆共に仏道 あらゆる人々に分け与え、私達も かと思いますが、現代語訳すれば、 お経の最後に読むことが多いので、 しました。昔は菩提寺の住職が、 この話をお通夜にしたところ、 本義の意味での戒名と言える 私達がお経を読むこ もしかした 仏様の教 仏教の

が分かりました。お名前の漢字の ころ、大変奥深い命名であること なかったのですが、

後で調べたと

おり、私も最初は読むことが出来 名前に少し珍しい漢字が使われて 後見人をされてきた方でした。お 両親亡き後は、身内の方がずっと ら障がいがあり、

生涯独身で、

を改めて感じたことがありまし

80代の故人は生まれたときか

先日お葬儀で、名付けの大切さ

本来の意味にかなうものだ

家族で寺へ

◆春の一日研修 5月12日 ®

仏教をわかりやすく学ぶ妙光寺の一日研修。今回は10人の方 たちが受講されました。

まずは基本となる数珠の持ち方から…。





◆仏前結婚式 6月15日①

仙台在住で良惠住職の妹なつみさんが、元勤務先の同僚で藤 田健太郎さんと本堂で結婚式を挙げました。祝宴も客殿を会場に ホテルのケータリングで行いました。檀信徒の結婚式もご相談くだ さい。





◆インド・オリッサ州民族舞踊公演 5月8日承

マハトマ・ガンディー生誕150周年記念で、インド政府ICCRから 派遣されたVision Odishaの舞踊団14名が縁あって妙光寺で公 演。本堂いっぱいの観客は伝統の舞踊に酔いしれました。



◆役員総会 6月9日 日

妙光寺全体の予算決算を始め、これからの運営を審議する大 切な会議。3人の総代と役員の皆様、今年度もよろしくお願いいた します。



◆新しい事務室と 『参拝者休憩室』が出来ました!

客殿大玄関の受付が事務室と直結し、来客への応対がとても スムーズになりました。隣には靴のままお茶を飲んでいただける休 憩室も完成。ご来寺の際は気軽にご利用ください。



寺のうごき参



◆真言宗視察研修会 3月26日®

真言宗智山派の僧侶、寺庭夫人29人が全国各地から来寺。安 穏廟見学の後、「寺院をいかに活性化していくか」をテーマに当山 院首の講義を受けました。





◆春彼岸と歓送迎会 3月21日承

法要後に永年妙光寺に勤められた鎌田義明上人の送別会と、 新任の田村圭亮上人歓迎会を開催、

170名の檀信徒さんで賑わいました。鎌田上人は4月から長岡 市法華寺の住職に就任しました。





◆ご妙判お大会 4月29日 周・観





連れで賑わう



式衆(僧侶)と稚児13人が「ご判」をお迎えし、大勢の信者も続いて本堂へと向かいます。



台所では当番の女性たちがた くさんのお斎を手作り中。





荒行を終 えた僧侶が水 をかぶる『水 行』の儀式



本堂での厳粛なお大会法要。

田 村圭売上人に聞く

侶という生き方を選ん



正式な僧侶となりました。

田村圭亮上人(35歳) 新潟市中央区西堀・法雲院の長男として生まれる。お父様は妙光寺にもしばしばお手伝いに来 てくださる田村憲吾上人。すでに実家からは独立し、東区の自宅で妻と一男一女の4人暮らしである。

実は、田村上人は30代になってから

「僧侶になる」と言ったので、 い時からお経を聴いて育ちましたが、 僕は就職す

なのに初めからお坊さんにならないきなり伺いますが、お寺の長男

は それで選んだ道が自衛隊というの 体育会系ですね。

「自衛隊です」というのはネタとして面白 田 村 るころ、一芸の時代、なんて言われていて、 自衛隊を選んだのは、 高校を卒業す

いでくれればいい」と言っていました。 いで妹と弟がいます。父は「誰か一人が継

小さ

済的に裕福とは言えません。3人きょうだ

に付随した塔頭寺院なので墓地もなく、

経

僕の実家である法雲院は、

大きな寺

かったのは、どうしてですか?

ることにしました。

垂も10回くらいしかできません。 代表・初代なでしこジャパンなんですよ。 選手でしたし、母は女子サッカーの元日本 田村家はスポーツ一家で、父は陸上の国体を、高校ではバレーボールをやっていました。 も僕はとくに鍛えていたわけではなく、 いと思ったからです。 一応中学校では野球 懸 で

でしたか? 陸上自衛隊ですね。 訓練は大変

> ました。 事もしてみたい」と退職しました。 20歳の 御殿場の駐屯地に勤務したときは数カ月間 ではサッカーを観る暇もありませんでした。 時起床で9時消灯です。2002年 キツい訓練もありました。 最初の半年は6 田村 重装備で走るとか35キロ行軍とか 6月でした。それで新潟の実家に帰ってき 的に任期は2年なので、2年後に「他の仕 食事を、朝昼晩の3食作る仕事です。 食堂の仕事も経験しました。 -ルドカップの時でしたが、

> 9時消灯 千人くらいの 入隊で 基本

2月から妙光寺に勤めている田村上人は、

35日間の修行(信行道場)を終えて、

5月下旬に身延山久遠寺での

それからは、 、何を?

なりました。 間アルバイトをし、その後鉄工所の正社員に なくなって、これはまずいとレストランで1 た。それでその通りに半年足らずでお金が 父は何も言いませんでしたが「そんなこと 遊んでいました。20歳って若いんですよね。 をしていると金はなくなるよ」と言いまし まず自動車学校で免許を取って、 実は僕、そのとき貯金があったんで

ユニークな経歴の持ち主です。

お坊さんを目指したという

さんになりませんね。 次は鉄工所ですか。 なかなかお坊

です。妻は保険の外交をしています もは上の娘が小学校1年生で、息子は年長 その間に結婚もして家も建てました。子ど そうです。なかなかたどり着かない よ。鉄工所には10年間勤務しました。

Q それなりに安定した人生をみつけた わけですね。

た。それで、その人たちの会社に転職する した。 その人たちは、みんな仕事に対して前向きで 社にとび職の人たちが手伝いに来たんです。 ことにしました。 32歳の時でした。 じゃないかと思い始めて……。 そんな時に会 進んでいくのかなぁと思うと、ちょっと違う なく仕事もこなせるようになり、 ようになったんです。 それほどの向上心も 技術を常に磨いて、いきいきとしてい でも次第に、これでいいのか……と思 このまま

木作業をする仕事ですね。 とび職というのは、高いところで土

会社に1年いたのですが、鉄工所勤務の ていった先の姿をいつも見せてくれる。 たち若いものが下から道具を渡す。 向上し 代の親方が高いところにどんどん登って、 私 方たち自身が率先して仕事をします。 世界で何も教えてくれない。 親方はみんな る仕事です。 「見て覚えろ」という態度ですが、その親 元に何人かの親方がいます。 も中身の濃い1年でした。 そうです。足場を組み立てたりす 10人くらいの会社で、 厳しい職人の 社長の 筋 の そ 10 の 60

がったんですか? とび職から、なぜお坊さんにつな

Q

33歳のときですね。

それが2年前で、

に晩酌をしていたら親方が「お前は寺の息 の経験があって幅10センチの鉄骨の上を命 綱なしでスタスタ歩く人でした。 子なのに、どうしてお坊さんにならなかった 張に行ったんです。その親方は40年以上 ある時、 65歳の親方の下で2カ月の 毎晩|緒

> るのに、 んだ?」と聞くんです。「俺たちは、これ 懸けられる。でもお前は他のチャンスがあ しかないととび職をやっていて、だから命も とび職をやっている。 どうしてなん

〇 ついにお坊さんが出てきました-

ると、 と向き合うことができなかったように思いま でした。導師を務めた親父が泣きながら読 田 村 たんだ」と道が見えた感じがしました。 今実家の法雲院にあります。 そう考えてみ というだけです。 「やる」と言ったから自分はいいかと思った、 れでもお坊さんにならなかった理由は、弟が ました。高3で一応得度もしました。 ら父方の祖母と一緒に毎朝お経を読んでい す。僕はお祖母ちゃん子で、小学生の頃か 悲しかったけど、その時はあまり「人の死」 経をしたのを、 身内の死は中学1年の時の母方の祖父の死 て思いました。振り返ってみると、初めての お坊さんにならなかったんだろう?」と初め も残念に思えてきた。「そうか、そうだっ お坊さんにならなかったことが、とて そう言われて「あれ?どうして僕は よく覚えています。 母方の祖父母のお骨は、 とても

の修行をし、

田 村 のところに行きました。さすがに「えっ!」 める理由がない」と言いました。次に親父 ら、お勧めはしない。でも決心したなら止 亀田の實相寺の住職をしています。 ーマンに比べたら生活は安定しないか まず弟に電話しました。 弟は今、 弟は「サ

> てみると、さすがに経済的には大変でした に話しました。「お坊さんの妻になるとい とすごく驚いていましたが、やはり「止め 退職してアルバイトをしながら修行を始め でも「反対はしない」と言ってくれました。 うことで結婚したわけじゃない」が最初の る理由はない」と言われました。そして妻 んだから、家計に迷惑はかけないでほしい」 一言でした。それから「家のロー ンもある

それでも後悔はなかったのですか?

田 村 今になって僧侶の修行をしています」とか話 練習をしました。 弟は法話で「うちの兄は 方向オンチなんです。だから道に迷った末に、 は弟です。最初は弟の寺に通って、 してまして、 後悔なく前へ進めました。 私の師匠 悔しかったんですけどその通り お経の

Q らだったとか? 高3で得度したのに、修行は0か

田 村 勤務させていただくことになりま 受けました。 11月にお経の試験を受けて、 をしまして、 した。昨年2月に千葉の清澄寺で再度得度 立ちました。それで2月1日から妙光寺に ようやく今年5月に信行道場に行くめどが 得度の有効期限は30歳で切れていま 9月に身延山で講義と試験を 6月に京都の本圀寺で1週間

聞いています。 妙光寺と田村家は、ご縁が深いと

田 村 できなかったので、院首さまのお祖父様の弟 子として妙光寺で修行して僧侶になり、 私の曽祖父は手が不自由で農作業が 法

> だと両親も大変喜んでいます 勤めることもなかったので、ご縁があったの さいころから妙光寺に来ていました。このタ 雲院の住職になったそうです。 度もお手伝いに来ていて、もちろん私も イミングでお坊さんになろうと思わなければ 父は年に幾

いかがでしたか? 35日間の信行道場は

田 村 格はあるのだろうかと緊張しました。 て完成を目指してきましたが、今度は求め でも僧侶です。今までの仕事では納期があっ は仕事でなく生き方ですから、僧侶は死ん なのだ、と責任の重さを感じました。僧侶 侶はみなさんの気持ちを仏様に届ける仕事 う?」と問いかけられました。 の人たちがどんな思いで手を合わせたと思 れば果てがありません。 信行道場は一生に いました。 先生から 「あの姿を見たか?あ ー回だけなので、出る時には今の自分に資 沿道にいる方が手を合わせてくださ 初日に道場から久遠寺に行脚した その時、 僧

りたいですか? では、これからどんなお坊さんにな

田 村 つでも場の雰囲気を変える、ということで なく、場化なお坊さん』になりたいと思って きません。だから『バカでもなく馬鹿でも す。 それはみなさんの思いを考えないとで 言われました。場を教化する-信行道場ではよく「場化になれ」と -お経ひと

これからもよろしくお願いします。。 貴重なお話を、ありがとうございました。

(聴いた人 編集部・新倉理恵子)

参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました

妙光寺では、今夏『安穏廟』開設30周年を迎えるにあたり、過去5年間(20

短期間のお願

いでしたが、幸い

98名(67%)の方から回答をいただくことができました。集計結果は以下のようになります。このアンケー

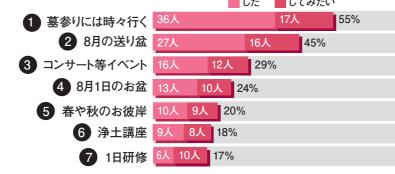
ト結果は、

トを実施いたしました。 今後の『安穏廟』運営の

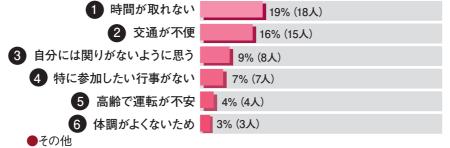
4年以降)に安穏会員となられた1

⑤妙光寺の行事についてお聞かせください。 (参加したことがある、参加してみたい。複数回答可)



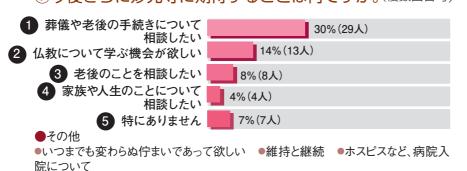


⑥妙光寺の行事に参加されたことがない方は理由を お聞かせください。(複数回答可)

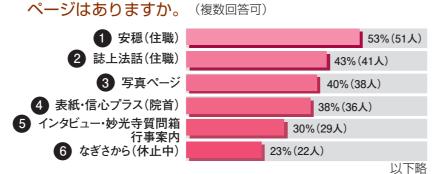


●高齢で運転不安(4)●もう少し時間が経ったら考えたい●体調が良くないため (3) ●まだ納骨していない ●契約して日が浅いのでチャンスが少ない ●自力で 参加出来ないため ●熱心に活動・参加されている方が多いように思われて自分は 場違いの様な気がします。 ●(時間がとれない)正月以外、勤務シフトが固定してい る。 ●区画を確保して安心してしまい足が遠のいた。 ●休日の過ごし方で、当面

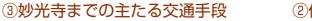
⑦今後さらに妙光寺に期待することは何ですか。(複数回答可)

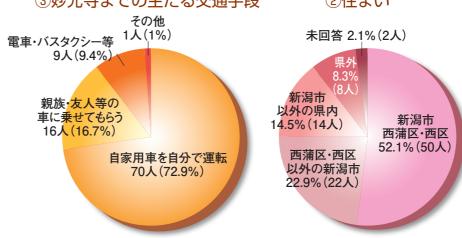


⑧年4回発行している『妙の光』で楽しみにしている

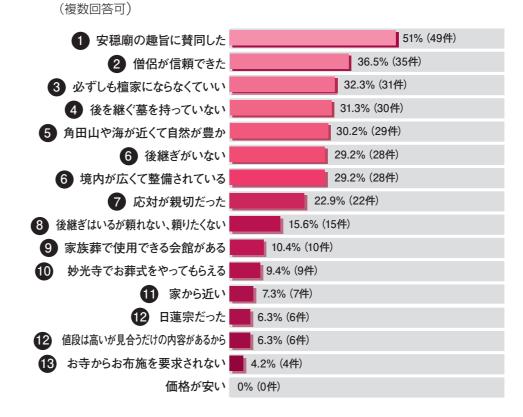


(1)年齢 ①性別 40代 未回答 4.2% (4人) 9.4% (9人) 70代 11.4% (11人) 42.7% (41人) 52.1% (50人) 80代 38.5% (37人) 12.5% (12人) 60代 19.8% (19人) ②住まい





4 『安穏廟』に申し込む決め手となった理由はなんですか?



09 妙光寺教報

心が落ち着くほっとする場所、気持ち良い対応で関係者に感謝

- ●安住の場所が決まり落ち着きました。不思議ですが、穏やか に過ごせるようになった気がします。いつも、きれいに整備され た境内、池のほとりで過ごす時間が楽しく毎月訪れています。 (70代·男性)
- ●月に2回おまいりに行っています。心が落ちつき楽しみにして います。(60代・女性)
- ●境内が広くて静かできれいに保たれています。近いので時々 おまいりもしています。(70代・男性)
- ●亡くなってしまえば分からないと思いますが、でもお墓の回り はいつでも美しくあってほしいです。妙光寺のお墓回りはいつ もきれいに整えられていてとっても気持ちが良いです。お墓を 買って良かったです。(60代・女性)
- ●大好きな新潟の山の麓に眠る場所があると思うと心穏やか に過ごせています。「妙の光」で新潟を偲ぶことが出来て楽し みに拝読しています。(70代・女性)
- ●会員という事を強く意識した事はなかったように思うが、妙 光寺さんに通って、皆様と接し、教えを受け、自分の心が少 しずつ落ち着いてきたように思っている。お寺に行く事が故 人の供養にもなるのだと信じている。本堂で手を合わせる 時、亡くなった人達はどうしているのか? 安らかなのかといつ も考えてしまう。いまの自分は故人が安らかであるよう祈るし かない。妙光寺さんとの御縁に感謝して、自分に出来る事 を御奉仕していきたいと思っている。それとともに、日蓮宗を 少しずつ知っていきたいと常々思っている。お寺に図書が

- あれば、図書コーナーなどあれば利用したいと思う。(50代・ 女性)
- ●亡き主人と偶然通りかかり出会えました。こんな所で眠りたい ねと話してたことを思い出し、主人亡き後、浄土真宗から改宗 してお世話になっております。一人では足もなく、年に2~3 回くらいしか行けませんが、私の心の安らぎの場にもなってお ります。(70代・女性)
- ●安穏廟にお世話になりもうすぐ3年になります。月1~2回の お墓参りして四季折々の妙光寺の境内で不思議と安らぎを もらっています。行くたびに、きれいに整えられているお墓の 手入れに感謝し、お花と線香を手向け、私の生きる力をもらっ て帰ってきます。妙光寺にご縁をいただいてありがたい思い です。「妙の光」の「なぎさから」のファンのひとりです。ページ の再開を心待ちにしております。長年、お寺に尽くされたおか らだ、ゆっくり養生されてください。(70代・女性)
- ●葬儀を2回ほどお願いしましたが、いつも気持ちよく対応して いただき感謝しています。(70代・男性)
- ●現在の住まいが県外ですので、帰省するたびに大切な人の 墓参りに行けること、そして新潟のすばらしい海と自然を生き 返りの道中、感じることもできるので、自分の中で大切な行事 になっています。新潟や海が好きだった故人が心地よくいてく れたらいいなといつも願っています。(70代・女性)
- ●安穏廟にいつ行っても、清掃が行き届いておりありがたく 思っております。(70代・男性)

行事に参加して一層うれしい、できる限り参加したい 3件 行事参加頻度が少ないと肩身の狭い感じ 2件

●いくつかの行事に参加させていただきました。お墓を求めることが一番の 目的でしたが、行事参加により今までにない世界のことが知れてとてもうれ しいです。今後も色々と教えていただきますようお願い致します。(60代・女 (性

交通の便が悪い 3件

●家族親戚は県内外におりますが、やはり新潟からの交通が遠く、こ の事が最も気がかりの事項です。(80代・男性)

今後ご縁を深めていきたい よろしく 3件

●妙光寺さんと縁が出来たことから葬儀のこと、仏の供養など併 せ今後どのように縁を深めていくか考えたいと思います。(70代・ 女性)

心配事がある 2件

●男一人暮らしで老後が大変心配です。介護の病院など紹介しても らえると助かります。イベント楽しみにしております。よろしくお願いし ます。(60代・男性)

特になし、2件

●申し訳ありませんが、特にありません。(70代・男性)

●他のお寺さんと比べても行事が多すぎるように思う。参加しない者 は肩身が狭いように感じる。(70代・男性)

「妙の光」が楽しみ 1件

●「妙の光」の内容がとても良いので次号が楽しみです。編集のご 苦労を感じております。(80代・男性)

身内を亡くし心の整理がつかない 1件

●9ヶ月前に妻を亡くして今後はどのように生きていけば良いか、気持 ちの整理が出来ない。(70代・男性)

落ち着いてきたせいか行事参加が減った 1件

●理由は良く分かりませんが、行事に参加したくなくなりました。家族 の死から日にちが経ってきて、心が落ち着いてきたからでしょうか。 お墓参りは行事以外に行きたいし、行っています。(60代・女性)

無理強いのない感じがよい 1件

■強制されないのがありがたいです。(70代・女性)

安心感がある 36件

- ●妙光寺さんとのご縁が出来て安心いたしま した。落ち着いて、日々を過ごせています。 感謝です。「妙の光」楽しみにしておりま す。各行事、お話しを興味を持って拝見し ています。仏教についても学んでいきたい と思っています。今後とも宜しくお願いいた します。(60代・男性)
- ●妙光寺様には、葬儀をはじめ永代供養の すべてを(契約済、書類保管有り)お願い 致しましたので、何の不安もなく、いつぞや は安心して極楽浄土に向かう事のできる ものと思っております。この頃は、心の安ら ぎを覚え日々を有難く過ごしております。何 卒よろしくお願い申します。(80代・性別不
- ●会員となり、少なからず安心感があります。 年齢を重ねるごとに後は大丈夫だと夫婦 で喜んでおります。その時はよろしくお願い しますと「心より、そう思って居ります」(70 代•男性)
- ●近いうちに息子と娘のいる東京で暮らす つもりですが、東京のお墓事情を考えると 子供たちに負担をかけたくないと思っていま したが安心しました。娘は今は仕事に情熱

- を持っているようで、結婚は考えていないよ うです。娘の行く末にも多少の不安があり ましたが、娘も喜んでおり心が軽くなりまし た。(70代・男性)
- ●妙光寺様の檀徒になり、安堵した日々を 送っています。院首様がお優しく話しやす い方なのでありがたく思います。良恵住職 様にもこれから宜しくお願いいたします。お 庭がいつもきれいに手入れしてあり、庭師さ んにも感謝しています。いつまでも妙光寺 様にいてください。(60代・女性)
- ●家族が、私の死に際して、あわてずに対応 出来るようになったことで、安心となりまし た。(70代・男性)
- ●新聞や雑誌等で記事を読み、しばらく試行 錯誤で話し合う日々でした。こんな身近な 所に妙光寺様を知り、皆で現地を見学させ ていただき、終の棲家が決まりました。安堵 して毎日生活できます。感謝です。これか らもよろしくお願い申し上げます。(70代・ 男性)
- ●心に余裕が出来た。(60代・男性)
- ●毎日、安心して生活できます。(80代・性別 不明)

ま||と||め

本来なら全檀信徒にお願いしたかったのですが、 時間と労力がなく新しいご縁の方に限定させていた だきました。近年の安穏廟契約者は比較的年代が高 い傾向にあります。そのため交通手段が心配、行事 に馴染みにくい、葬儀や老後の手続きを相談したい 等のご意見が目立ちました。一方で「妙の光」紙面の 人気度は住職の記事が高いというありがたい傾向で す。交通不便は悩ましい課題で、現在はタクシー割引 で対応しています。

自由回答欄に沢山のご意見をいただきました。紙面 の都合上重複するものは割愛して代表的なご意見に まとめましたが、趣旨は全て掲載しました。環境を含め て運営面に好意的なご意見が多く安心しました。現 在も新規申込み希望が途切れませんが、将来的な管 理運営を考えて大規模な造設予定は今のところあり ません。ご意見ご相談ご質問等今後もお寄せくださ い。(院首記)





H

11 妙光寺教報

誌上法話

小川良恵



さんそうにもく

「三草二木の喩え」

薬草喩品には法華七喩 (法華経の中の7つの 喩え)のひとつ「三草二木の喩え」が説かれて います。三草二木とは、大・中・小ある草や大・ 小ある木々、つまりありとあらゆる植物を意味し ています。

びょうどうだいえ

平等大慧

空から降る雨は、どの植物にも等しく潤いをも たらしますが、どれだけの水を吸収できるか、ど のように成長し、花を咲かせ、実を結ぶかは個々 の植物によって異なります。同じ大地に根を生や し、雨の恵みを受けたとしても、皆違いがあるの です。

仏様は、この雨のような存在であり、私たち 人間も含めた生きとし生けるもの全ての、資質や これまでの努力を見抜き、最もふさわしい方法で 真理を説いてくださることを、「三草二木の喩え」 は表しています。

小さな草も誰かのための薬草になれる

さらに、薬草喩品の最後には、「自分自身の救 いしか求めない者は、本当の悟りに至ることは出 来ない」と説かれています。森の生態系が維持 されていくためには、小さな草だけでも、大きな 樹木だけでも足りません。特性の違う植物が共 生しているからこそ、森の命は繋がっていきます。 同じように、この世界に生きる私たちも、お互い の違いを認め、それぞれにあった役割を果たし て助け合うことが大切なのです。

最も小さな草であっても、誰かのための薬草と なれる。そしていずれ私たちは、恵みの雨の如 き仏様にも成れる。だからこそ、皆で等しく共に 仏に成ることを目指す。これが法華経に説かれる 重要な教えです。



角

ンフ

X

岩屋の七面様盗難被害

像です。新しいので骨董品としては転売 それまでの木像に替えて新たに作った石 地元の方が見つけ知らせてくれました。 洞穴の内部に積まれた石も崩され、皆さ れたのでご存じの方も多いと思います。 日には異常がありませんでした。21日に た。毎月19日朝に勤行しており、4月19 んから奉納された旗、鐘が無くなりまし ました。県内では、テレビや新聞で報道さ していた七面様の石像が盗難被害に遭い 岩屋は湿気が多いため、昭和40年代に 月末岩屋の内部が荒らされて、安置

われます。古い木像は本堂に安置してあ できないでしょうから、いたずら目的と思

普段の岩屋 の世界である淨土を作る「浄土化宣言」 ている「淨土基金」に依ります。昨年度も 檀信徒の皆様から自由にご寄付いただい 座」の実施、心安らぐ境内の整備保全、心 をしました。その具体策として、「浄土講 神奈川県の山田様、新潟市の宮路様・大 配事相談を行っております。その原資は

りますので心配ありません。

法要も含めて本堂から木像をお運びす 出も戴いていますが、戻ることを願ってし ることとします ばらくは静観します。それまでは毎月の 「新たに作るなら協力したい」との申し



玄関前と山門に至る参道の舗装を検討 使えないとの声が以前からあり、客殿の が10月末の予定です。 旬、客殿前参道川沿いが9月末、客殿前 が7月末、山門に至る表参道が9月中 目処が立ち着工します。完成は山門前 具体化できずに来ました。この度費用の してきました。しかし延べ面積が広く、 境内が砂利敷で歩きにくい、車椅子も

妙光寺では201 4年、この世に仏様 寺』で検索してみてください。



黄色い部分が舗装されます

ました。地区の世話人が伺う、郵便振替、

年会費のご案内を同封させていただき

年会費のお願い

ご協力をいただきました。山田様・宮路 様からは遺贈をしていただきました。 橋様他多数の方々から600万円余りの

> せください。ご協力をお願いいたします。 法があります。ご不明の点はお問い合わ 銀行口座引落し、直接ご持参と4つの方

新盆法要

この1年以内に葬儀を出された檀徒の

上げます。 うして浄土化が進展することに感謝申 た秋には「浄土講座」も計画中です。こ し上げ、引き続きのご協力をお願い申し これを参道舗装工事に充当します。ま

ホームページ全面改訂

をお選びいただけます。 い合わせください。8月 する」という方もお受けしますので、お問 した。「檀徒でないが新盆の供養を希望 お宅に新盆法要のお知らせを同封しま

1日金か4日

多くのアクセスがあります。 り前の時代になりました。妙光寺は比較 お寺もインター

綺麗な映像が見られます。『角田山妙光 た。パソコンでは大きな画面で、スマホでも 的早くからホームページを作成し、大変 その形式が時代にそぐわなくなり、 余りを要してこの度前面改訂しまし

ネットでの発信が当た

の落語もあります

秋の行事予告

身延山久遠寺への団体参拝旅行。 9月28日生(月30日 ① 蓮宗総本山

戒名授与式。三遊亭楽々さん(安穏会員) 11月4日(囲·振替休日)お会式·生前

は次号でお知らせします 他に「浄土講座」も計画中です。詳

妙光寺の お宝紹び vol. 5



ずつと昔は神社に神様の乗り物の



の題目』を書く。④翌日佐渡に向か を改心させた記念に山の岩肌に『岩 ②古老に願われ『岩屋』に住む七つの 馬を奉納する習慣がありました。そ 頭を持つた大蛇を教え説く。③大蛇 岸のおり岸辺の岩にお題目を書く。 なったのが「絵馬」だそうです。また 願い事を書いて寺社に掲げる木札に れが絵に描いた馬に代わり、さらに す。左上から①『岸の題目』といい着 社に奉納した絵馬もあります。 様々な事象を大きな板に描いて、寺 人の角田浜での伝承が描かれていま 1271年佐渡に渡る途中の日蓮聖 「縁起」とはお寺の由来のことです。

> 鎮める、それぞれのお姿です。このご ら、189年前の江戸時代末期のもの 縁で妙光寺が1313年に開創され 文政13年(1830)とありますか

ています。 名な浮世絵師菱川師宣の派かもし は現在も続いており、毎月当番のお 宅に集まってお参りする会が開かれ です。巻講中(巻地区の檀徒の集ま れませんが、不明です。縦162㎝、横 り)の奉納と書かれています。巻講中 絵師は菱川櫛谷とあり、江戸の有

縁起(由来)を描いた絵馬 いようです。



「信行会」は、どなたでも参加出来て一緒にお経を読む集まりです。

法華経には5種の妙行という修行方法が説かれています。それは「受持・読・誦・解説・ 書写」の5つです。お経を聞いて理解すること、写経をすることと並び、大切なことが「声 に出して読むこと」なのですが、昨今の住居事情を鑑みますと、誦するというのは難し

妙光寺では毎月第1日曜日の朝7時から行っています(1月と2月を除く)。早朝の 爽やかな空気の中、本堂にて皆さんでお経をあげます。読経後は、お掃除などの簡単 な作務を行い、全員で精進料理の朝食をいただきます。大きな声で読経し、揃ってお 題目を唱えるのは気持ちの良いものです。予約は不要ですので、お気軽にご参加くだ さい。

う洋上で『波のお題目』を書いて波を

ます。いつか修復出来たらと思ってい

昔の雨漏りのせいか汚れが目立ち

292㎝の見事な欅の一枚板ながら、